

海外国債ファンド（1年決算型）

追加型投信／海外／債券

受益者の皆さまへ

毎々格別のお引立てに預かり厚くお礼申し上げます。

当ファンドは、主として海外国債マザーファンドを通じて、アメリカ、イタリア、ドイツ、フランス、イギリスそしてカナダの6カ国が発行する国債と政府機関債（国債と同等の格付けを持つもの）を中心に分散投資を行いました。

ここに、運用経過と償還内容をご報告申し上げます。

今後とも一層のご愛顧を賜りますようお願い申し上げます。

作成対象期間 2022年4月16日～2023年4月17日

第14期	償還日：2023年4月17日	
償還日 (2023年4月17日)	償還価額	11,296.81円
	純資産総額	49百万円
第14期	騰落率	△0.4%
	分配金合計	0円

(注1) 騰落率は分配金再投資基準価額の騰落率を表示しています。
(注2) △(白三角)はマイナスを意味しています(以下同じ)。

当ファンドは投資信託約款において、運用報告書(全体版)を電磁的方法によりご提供する旨を定めております。運用報告書(全体版)は、下記のホームページにアクセスし、「基準価額一覧」等から当ファンドの名称を選択いただき、ファンドの詳細ページから閲覧、ダウンロードすることができます。また、運用報告書(全体版)は受益者のご請求により交付されます。交付をご請求される方は、販売会社までお問い合わせください。

■運用報告書に関するお問い合わせ先

コールセンター **0120-104-694**

(受付時間：営業日の午前9時から午後5時まで)

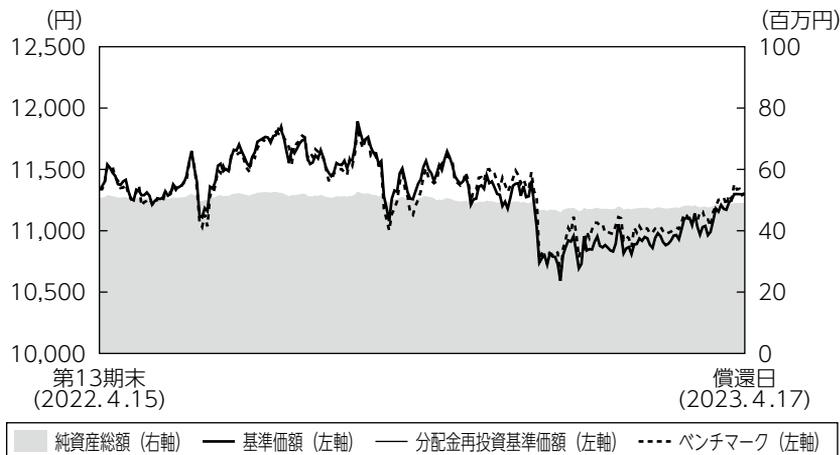
お客さまのお取引内容につきましては、購入された販売会社にお問い合わせください。

アセットマネジメントOne 株式会社

東京都千代田区丸の内1-8-2 <http://www.am-one.co.jp/>

運用経過の説明

基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものではありません。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク（F T S E 世界国債インデックス（除く日本、7-10年、円ベース））は、期首の基準価額に合わせて指数化しています。なお、ベンチマークについては後掲の〈当ファンドのベンチマークについて〉をご参照ください。

基準価額の主な変動要因

当期の基準価額は下落しました。当期の為替市場では、米国など投資国の中央銀行がインフレ高進から積極的に利上げを実施した一方で、日銀がマイナス金利政策を維持したことなどから内外金利差拡大が意識され、多くの投資通貨が対円で上昇し、これは基準価額の上昇要因となりました。しかしながら、利上げの進展を背景に債券価格が下落したことや、信託報酬等の運用経費によるマイナス要因が投資通貨上昇によるプラス要因を上回ったことで、基準価額は下落しました。

設定来の税引前分配金再投資基準価額は上昇しました。2008年の金融危機や2016年の英国のEU（欧州連合）離脱を巡る国民投票の結果を受けて不透明感が強まったことで投資通貨に対して円高が進行し、基準価額が下落する場面はありましたが、日銀が緩和的な金融政策を堅持していることなどを背景に米ドルやユーロなど主要な投資通貨が対円で上昇したことや、組入債券による金利収入などが基準価額の上昇要因となりました。

1 万口当たりの費用明細

項目	第14期		項目の概要
	(2022年4月16日 ～2023年4月17日)		
	金額	比率	
(a) 信託報酬	119円	1.050%	(a) 信託報酬＝期中の平均基準価額×信託報酬率 期中の平均基準価額は11,299円です。 投信会社分は、信託財産の運用、運用報告書等各種書類の作成、基準価額の算出等の対価 販売会社分は、購入後の情報提供、交付運用報告書等各種書類の送付、口座内でのファンドの管理等の対価 受託会社分は、運用財産の保管・管理、投信会社からの運用指図の実行等の対価
(投信会社)	(37)	(0.332)	
(販売会社)	(75)	(0.664)	
(受託会社)	(6)	(0.055)	
(b) その他費用	3	0.030	(b) その他費用＝期中のその他費用÷期中の平均受益権口数 保管費用は、外国での資産の保管等に要する費用 監査費用は、監査法人等に支払うファンドの監査にかかる費用 その他は、信託事務の処理に要する諸費用等
(保管費用)	(3)	(0.028)	
(監査費用)	(0)	(0.002)	
(その他)	(0)	(0.000)	
合計	122	1.080	

(注1) 期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。なお、その他費用は、このファンドが組入れているマザーファンドが支払った金額のうち、このファンドに対応するものを含みます。

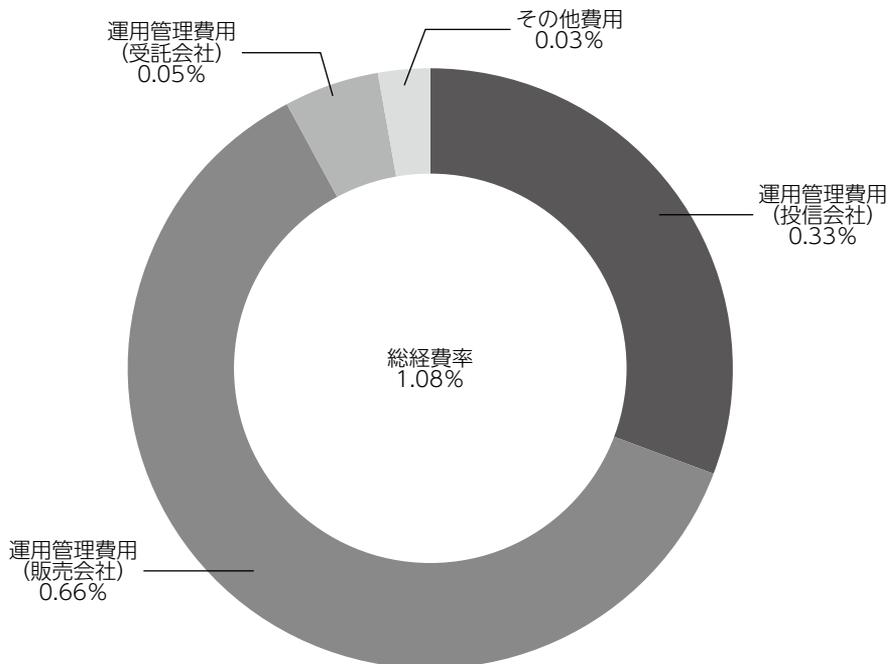
(注2) 金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。

(注3) 比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。

（参考情報）

◆総経費率

当期中の運用・管理にかかった費用の総額を期中の平均受益権口数に期中の平均基準価額（1口当たり）を乗じた数で除した総経費率（年率）は1.08%です。



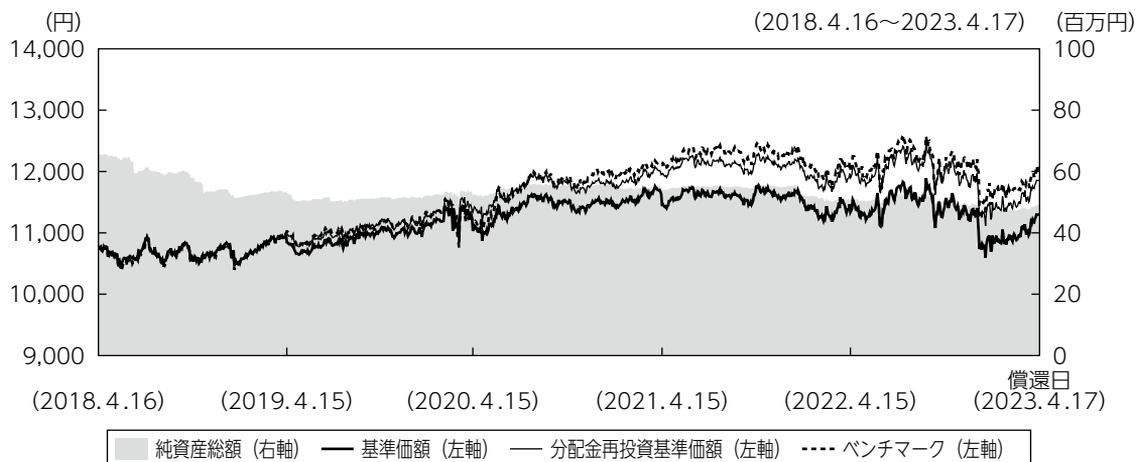
(注1) 1万口当たりの費用明細において用いた簡便法により算出したものです。

(注2) 各費用は、原則として、募集手数料、売買委託手数料および有価証券取引税を含みません。

(注3) 各比率は、年率換算した値です。

(注4) 上記の前提条件で算出したものです。このため、これらの値はあくまでも参考であり、実際に発生した費用の比率と異なります。

最近5年間の基準価額等の推移



- (注1) 分配金再投資基準価額は、税引前の分配金を再投資したものとみなして計算したもので、ファンド運用の実質的なパフォーマンスを示すものです。
- (注2) 分配金を再投資するかどうかについてはお客さまがご利用のコースにより異なります。また、ファンドの購入価額により課税条件も異なります。従って、お客さまの損益の状況を示すものではありません。
- (注3) 分配金再投資基準価額およびベンチマーク (F T S E 世界国債インデックス (除く日本、7-10年、円ベース)) は、2018年4月16日の基準価額に合わせて指数化しています。

	2018年4月16日 期首	2019年4月15日 決算日	2020年4月15日 決算日	2021年4月15日 決算日	2022年4月15日 決算日	2023年4月17日 償還日
基準価額 (分配落) (円)	10,770	10,848	11,030	11,461	11,338	(償還価額) 11,296.81
期間分配金合計 (税引前) (円)	—	130	170	180	60	0
分配金再投資基準価額の騰落率 (%)	—	1.9	3.2	5.5	△0.5	△0.4
ベンチマークの騰落率 (%)	—	2.3	1.4	8.4	△0.5	△0.3
純資産総額 (百万円)	66	52	52	54	50	49

設定来の投資環境

当ファンドの投資国の10年国債利回りは、いずれも低下しました（価格は上昇）。2008年の金融危機や2011年の欧州債務危機を受けて、主要国の中央銀行が政策金利を低位に留め、国債買入などの量的緩和策を実施したことなどが国債利回りの低下要因となりました。2022年に入り世界的にインフレが高進したことで、これらの緩和的な金融政策が巻き戻され利回りは上昇（価格は下落）に転じましたが、設定来では多くの投資国の利回りは低下しました。

当ファンドの投資国の通貨の対円での動きはまちまちでした。日銀がマイナス金利や長期金利の目標を導入し、主要国対比で強力な金融緩和策を堅持したことを背景に、組入国との金利差拡大が意識されたことなどから、米ドルや加ドルが対円で上昇しました。その一方で、国民投票の結果を受けてEU離脱を決めたことで英国経済の見通しに対する懸念が強まった英ポンドは対円で大きく下落したほか、ユーロも欧州債務危機やその後の緩和策の長期化などから対円で下落しました。

設定来のポートフォリオについて

●当ファンド

当ファンドの主要投資対象は海外国債マザーファンドであり、マザーファンドの組入比率は運用期間を通じて高位を維持するよう運用しました。定時償還を控えた2023年4月に入り、マザーファンドを全部売却し、償還日までキャッシュでの運用を行いました。

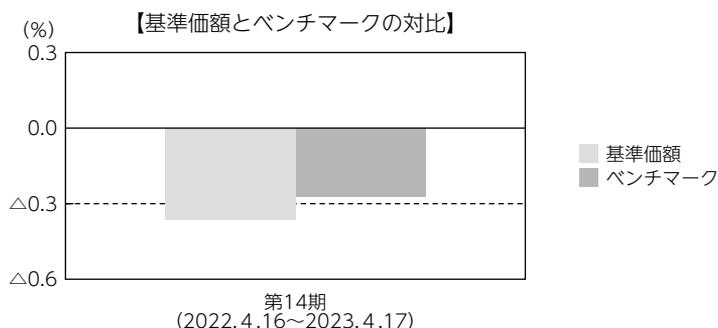
●海外国債マザーファンド

国別の投資比率については、各国の金利水準や地域分散、金利為替動向などを勘案して機動的に変更しました。デュレーションについてはベンチマークに対して±1年の範囲で世界経済や各国の金融政策見通しに合わせて適宜調整を行いました。

ベンチマークとの差異について

当期はベンチマークであるFTSE世界国債インデックス（除く日本、7-10年、円ベース）は $\Delta 0.27\%$ 下落しました。当ファンドはベンチマークを 0.09% 下回りました。保有するマザーファンドは前期末から上昇したものの、信託報酬などの運用経費が基準価額の下押しとなったことがベンチマークを下回った主要因となりました。

設定来ではベンチマークは 62.6% 上昇しました。当ファンドは税引前分配金再投資基準価額ベースでベンチマークを 22.2% 下回りました。マザーファンドを通じた現物債券への投資部分は、ベンチマークと同程度のパフォーマンスとなりましたが、信託報酬などの運用経費などが基準価額の押し下げたことで、ベンチマークを下回りました。



(注) 基準価額の騰落率は分配金（税引前）込みです。

このたび償還を迎えるにあたりまして、当ファンドへのご愛顧に心より感謝申し上げますとともに、今後とも一層のお引立てを賜りますようお願い申し上げます。

お知らせ

約款変更のお知らせ

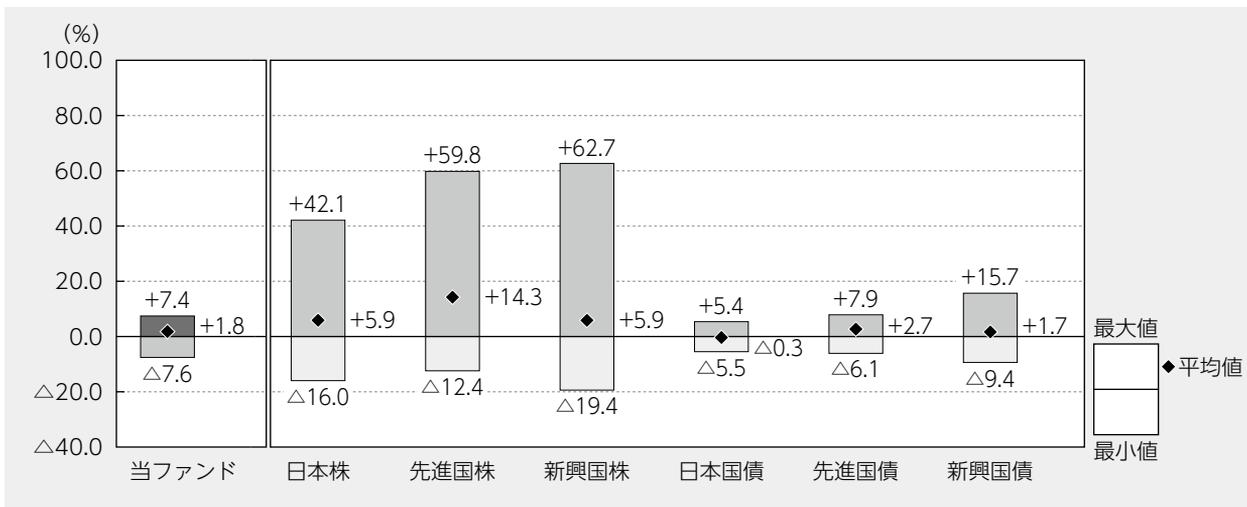
■当ファンドが投資対象とする「海外国債マザーファンド」において、第16条（投資する株式の範囲）の付表「I.取引所等」、第18条（先物取引等の運用指図）の付表「II.外国の証券先物市場等」および第26条（保管業務の委任）の付表「III.外国での保管会社」を削除するため所要の変更を行いました。

(2023年1月18日)

当ファンドの概要

商品分類	追加型投信／海外／債券	
信託期間	2008年9月30日から2023年4月17日までです。	
運用方針	海外国債マザーファンド受益証券ならびに日本を除く世界主要先進国の公社債を主要投資対象として、長期的に安定した収益確保と投資信託財産の成長を目指します。	
主要投資対象	海外国債ファンド （1年決算型）	海外国債マザーファンド受益証券ならびに日本を除く、F T S E 世界国債インデックスに含まれる国に所在する政府、政府関係機関、国際機関、法人およびその他事業体が発行する当該インデックスに含まれる通貨建ての国債、政府機関債、国際機関債、短期金融商品を主要投資対象とします。
	海外国債マザーファンド	日本を除く、F T S E 世界国債インデックスに含まれる国に所在する政府、政府関係機関、国際機関、法人およびその他事業体が発行する当該インデックスに含まれる通貨建ての国債、政府機関債、国際機関債、短期金融商品を主要投資対象とします。
運用方法	海外国債マザーファンド受益証券ならびに日本を除くG7構成国（アメリカ、イタリア、ドイツ、フランス、イギリス、カナダの6カ国）が発行する国債、政府機関債を中心に投資します。 公社債の実質組入比率については原則として高位を保ちますが、投資環境が大きく変動するような場合、このような運用ができないことがあります。 外貨建資産については、為替ヘッジを行いません。	
分配方針	分配対象額の範囲は、繰越分を含めた利子・配当収益と売買益（評価益を含みません。）等の全額とします。分配金額は、委託者が基準価額水準や市況動向等を勘案して決定します。ただし、分配対象額が少額の場合には、分配を行わないことがあります。留保益の運用については、特に制限を設けず、運用の基本方針に基づいた運用を行います。	

代表的な資産クラスとの騰落率の比較



2018年4月～2023年3月

(注1) すべての資産クラスが当ファンドの投資対象とは限りません。

(注2) 上記期間の各月末における直近1年間の騰落率の平均値・最大値・最小値を、ファンドおよび代表的な資産クラスについて表示し、ファンドと代表的な資産クラスを定量的に比較できるように作成したものです。なお、上記の騰落率は決算日に対応した数値とは異なります。

(注3) 当ファンドの騰落率は、税引前の分配金を再投資したものと計算しています。

*各資産クラスの指数

日本株…東証株価指数 (TOPIX) (配当込み)

先進国株…MSCIコクサイ・インデックス (配当込み、円ベース)

新興国株…MSCIエマージング・マーケット・インデックス (配当込み、円ベース)

日本国債…NOMURA-BPI国債

先進国債…FTSE世界国債インデックス (除く日本、円ベース)

新興国債…JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバースィファイド (円ベース)

(注) 海外の指数は為替ヘッジなしによる投資を想定して、円換算しております。

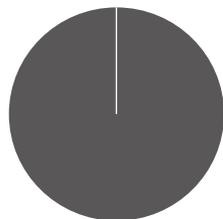
※各指数については後掲の「代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について」をご参照ください。

当ファンドのデータ

当ファンドの組入資産の内容（2023年4月17日現在）

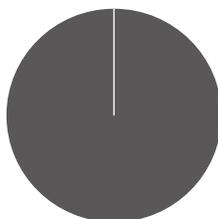
当ファンドに組入れておりました親投資信託受益証券は期中に全て解約いたしました。

◆資産別配分



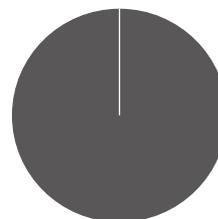
その他
100.0%

◆国別配分



その他
100.0%

◆通貨別配分



その他
100.0%

(注1) 比率は償還時における純資産総額に対する割合です。

(注2) 現金等はその他として表示しています。

純資産等

項目	償還時
	2023年4月17日
純資産総額	49,027,542円
受益権総口数	43,399,442口
1万口当たり償還価額	11,296.81円

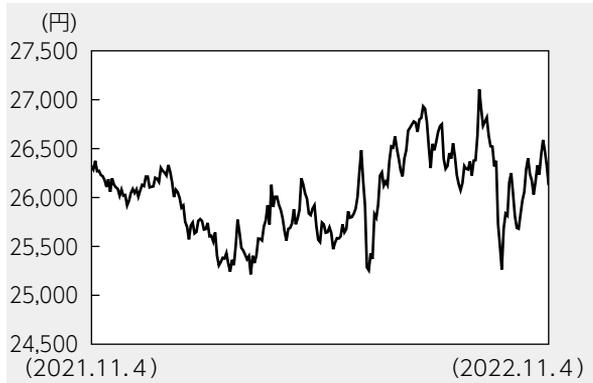
(注) 当期中における追加設定元本額は384,589円、同解約元本額は1,638,258円です。

組入ファンドの概要

※償還時における組入ファンドはありません。

【海外国債マザーファンド】（計算期間 2021年11月5日～2022年11月4日）

◆基準価額の推移



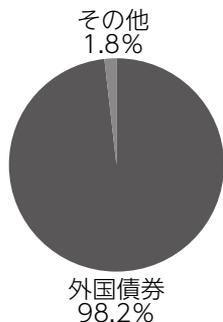
◆組入上位10銘柄

銘柄名	通貨	比率
US T N/B 0.125 04/30/23	アメリカ・ドル	9.9%
US T N/B 1.875 02/15/32	アメリカ・ドル	8.4
US T N/B 1.625 05/15/31	アメリカ・ドル	8.2
US T N/B 2.875 05/15/32	アメリカ・ドル	6.8
US T N/B 0.625 08/15/30	アメリカ・ドル	6.8
US T N/B 1.375 11/15/31	アメリカ・ドル	4.9
US T N/B 2.75 08/15/42	アメリカ・ドル	4.6
US T N/B 1.25 08/15/31	アメリカ・ドル	3.9
FRANCE OAT 5.5 04/25/29	ユーロ	3.6
DEUTSCHLAND 0,0 08/15/31	ユーロ	3.1
組入銘柄数		37銘柄

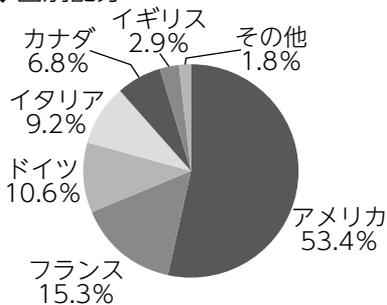
◆1万口当たりの費用明細

項目	当期	
	金額	比率
(a) その他費用 (保管費用) (その他)	8円 (8) (0)	0.030% (0.030) (0.000)
合計	8	0.030
期中の平均基準価額は26,024円です。		

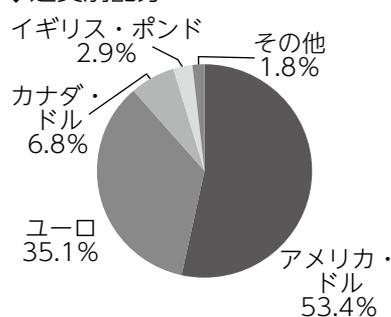
◆資産別配分



◆国別配分



◆通貨別配分



(注1) 基準価額の推移、1万口当たりの費用明細は組入ファンドの直近の計算期間のものです。

(注2) 「1万口当たりの費用明細」期中の費用（消費税等のかかるものは消費税等を含む）は、追加・解約によって受益権口数に変動があるため、簡便法により算出した結果です。金額欄は項目ごとに円未満は四捨五入してあります。比率欄は「1万口当たりのそれぞれの費用金額」を期中の平均基準価額で除して100を乗じたものです。なお、項目の概要につきましては運用報告書（全体版）をご参照ください。

(注3) 組入上位銘柄、資産別配分・国別配分・通貨別配分のデータは組入ファンドの直近の決算日現在のものです。

(注4) 比率は純資産総額に対する評価額の割合です。

(注5) 国別配分につきましては発行国（地域）で表示しております。

(注6) 現金等はその他として表示しています。なお、その他は未払金等の発生によりマイナスになることがあります。

(注7) 計算期間中の運用経過や組入全銘柄に関する詳細な情報等については、運用報告書（全体版）に記載されています。

<当ファンドのベンチマークについて>

●FTSE世界国債インデックス（除く日本、7-10年、円ベース）

FTSE世界国債インデックス（除く日本、7-10年、円ベース）は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合投資利回りを、各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。FTSE Fixed Income LLCは、本ファンドのスポンサーではなく、本ファンドの推奨、販売あるいは販売促進を行っておりません。このインデックスのデータは、情報提供のみを目的としており、FTSE Fixed Income LLCは、当該データの正確性および完全性を保証せず、またデータの誤謬、脱漏または遅延につき何ら責任を負いません。このインデックスに対する著作権等の知的財産その他一切の権利はFTSE Fixed Income LLCに帰属します。

<代表的な資産クラスとの騰落率の比較に用いた指数について>

- 「東証株価指数（TOPIX）」は、日本の株式市場を広範に網羅し、投資対象としての機能性を有するマーケット・ベンチマークです。同指数の指数値および同指数にかかる標章または商標は、株式会社JPX総研または株式会社JPX総研の関連会社（以下「JPX」という。）の知的財産であり、指数の算出、指数値の公表、利用など同指数に関するすべての権利・ノウハウおよび同指数にかかる標章または商標に関するすべての権利はJPXが有しています。
- 「MSCIコクサイ・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、日本を除く世界の主要先進国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「MSCIエマージング・マーケット・インデックス」は、MSCI Inc. が開発した株価指数で、新興国の株価指数を、各国の株式時価総額をベースに合成したものです。同指数に関する著作権、知的財産権その他一切の権利はMSCI Inc. に帰属します。また、MSCI Inc. は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。
- 「NOMURA-BPI国債」は、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社が国内で発行された公募利付国債の市場全体の動向を表すために開発した投資収益指数です。同指数の知的財産権その他一切の権利は野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社に帰属します。なお、野村フィデューシャリー・リサーチ&コンサルティング株式会社は、同指数の正確性、完全性、信頼性、有用性を保証するものではなく、ファンドの運用成果等に関して一切責任を負いません。
- 「FTSE世界国債インデックス（除く日本）」は、FTSE Fixed Income LLCにより運営され、日本を除く世界主要国の国債の総合収益率を各市場の時価総額で加重平均した債券インデックスです。同指数はFTSE Fixed Income LLCの知的財産であり、指数に関するすべての権利はFTSE Fixed Income LLCが有しています。
- 「JPモルガンGBI-EMグローバル・ディバーシファイド」は、J. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーが公表している新興国の現地通貨建ての国債で構成されている時価総額加重平均指数です。同指数に関する著作権等の知的財産その他一切の権利はJ. P. モルガン・セキュリティーズ・エルエルシーに帰属します。また、同社は同指数の内容を変更する権利および公表を停止する権利を有しています。